

平成 28 年度城端・氷見線活性化推進協議会 臨時総会 議事要旨

日 時：平成 29 年 2 月 22 日（水）13:00～13:50

場 所：高岡市生涯学習センター（ウイング・ウイング高岡）4 階ホール

委 員：別紙委員名簿のとおり

議事要旨：以下のとおり

【城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画（案）について】

事務局説明：計画案について説明。

第 1 章～第 5 章まで、各章の概略を説明。

第 6 章 計画の目標、取組み内容 23 項目について説明。

【委員からの意見】

○あいの風とやま鉄道㈱

- ・取組み内容の「城端・氷見線の直通化に向けた検討」、「万葉線との接続性の向上」等について、当社として連携、協力できるところを、この計画に沿ってしっかりと進めていきたい。
- ・日頃から継続して行っている事業もあるが、計画実施を機にもう一步踏み込んだ取り組みにより、利用者の増加につながるよう事業者としても協力していきたい。

○西日本旅客鉄道㈱金沢支社

- ・日頃から両線を大事にしていだきいることに感謝を申し上げる。
- ・5 年間の計画の中で、取組み事業としてなかなか難しい内容のものもあるが、目標の達成に向けて精一杯努力していきたい。
- ・振り返ると JR が発足して 30 年になるが、城端線・氷見線の利用状況は 4 割程度落ち込んでいるのも事実。引き続き、地元の皆様のご支援について、よろしくお願いしたい。

○富山県

- ・城端線・氷見線の沿線住民に、もっと危機感をもってもらうことが必要。
- ・(市民アンケート結果の) 運行本数の満足度に関する回答で、運行本数が「分からない」との回答が 53.9%、利用頻度に関する回答で「利用しない」という方が 53.6%いる。こうした方の意識を変えていかなければ、決して利用促進には繋がらない。沿線住民に、城端線・氷見線の状況を伝え、何とかしなければならぬという意識を持ってもらうような取組みが必要。
- ・県としても、利用促進の取組みに対して支援するため、来年度予算を計上した。4 市、JR、関係住民の皆様とともに、利用促進に取り組んでいきたい。

【委員意見を受け、事務局から説明】

○事務局

- ・ご発言の中にあつたように、城端線・氷見線を取り巻く環境はたいへん厳しく、これは皆様にも共有いただけることかと思う。沿線市としても、県とも協力し、活性化の取組みを進めていきたい。本日まで出席の皆様にも、この取り組みの後押しについて、よろしくお願いしたい。

【今後の策定スケジュールについて説明】

○事務局

- ・本計画については、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第 5 条第 7 項に基づき、関係道路管理者、警察等との協議が必要なことから、現在、協議を行っている。
- ・本日、計画案について概ねご了承いただいたことから、今後、パブリックコメントを実施し、最終版を委員皆様にお諮りしたい。確定した計画書を国に進達し、4 月から計画に取り組んでいけるよう進めていきたい。

以上

(別紙)

城端・氷見線活性化推進協議会 委員名簿

平成 29 年 2 月 22 日

所 属	役 職	氏 名
高岡市長	会長	高橋 正樹
氷見市長	副会長	本川 祐治郎
砺波市長	副会長	夏野 修
南砺市長	副会長	田中 幹夫
南砺市副市長	(欠席)	工藤 義明
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局長		小池 克弘
富山県知事政策局長		新田 一郎
富山県観光・地域振興局長	(欠席)	亀井 明紀
西日本旅客鉄道株式会社金沢支社長		児島 邦昌
あいの風とやま鉄道株式会社代表取締役社長		市井 正之
万葉線株式会社代表取締役社長		竹平 栄太郎
加越能バス株式会社取締役社長		稲田 祐治
西日本ジェイアールバス株式会社代表取締役社長		宇都宮 道夫
高岡商工会議所会頭		川村 人志
氷見商工会議所会頭		寺下 利宏
砺波商工会議所会頭		北村 憲三
高岡市商工会会長		大井 弘
南砺市商工会会長		花島 榮一
公益社団法人 高岡市観光協会会長		川村 人志
一般社団法人 氷見市観光協会代表理事会長	(欠席)	松原 勝久
一般社団法人 砺波市観光協会会長		五島 辰夫
一般社団法人 南砺市観光協会会長	(欠席)	川合 声一
高岡市連合自治会会長		杉江 幸男
氷見市自治振興委員連合会会長	(欠席)	猶明 孝信
砺波市地区自治振興会協議会会長		杉本 庄一
南砺市自治振興会連合会会長		松本 久介
JR 越中中川駅利用促進協議会会長		宇於崎 徹
JR 戸出駅利用促進協議会会長		澤田 誠一郎

(28 名)